広域ドッジビーコンペティション
関東大会(第6回)2022

大会報告書

2022年10月20日

日本ドッジビー協会

【大会の概要】

名称 広域ドッジビーコンペティション 関東大会 2022

日時 2022(令和4)年10月2日(日曜日) 9:00~18:00

場所 駒沢オリンピック公園総合運動場 屋内球技場
〒154-0013 世田谷区駒沢公園 1-1 TEL03-3421-6199

主催 一般社団法人日本ドッジビー協会

後援 東京都 / 東京都障害者スポーツ協会

協賛 文化シャッター株式会社
ワタミ株式会社
株式会社ミカサ
株式会社クラブジュニア

協力 有限会社イノーバー・ジャパン

【募集結果】

○ディスクドッジ関東大会	募集数	申込数	成否
① ユニファイド部門	12チーム	4チーム	成立
② 小学年部門	12チーム	8チーム	成立
③ 青年ミックス部門	12チーム	1チーム	不成立

ドッジディスタンス関東大会	申込数	当日実数
●ジュニアクラス	12人 →	11人
▲オープンクラス	32人 →	29人
◆ユニファイド(チャレンジド部門記録会)	39人 →	37人

◇ゴールドドッジ関東大会は6・7・8・9月の予選4大会の成績上位4チームを招待して実施

【来場者数】 = 355名

選手競技者 = 204名

同伴指導者/帯同者 = 120名

スタッフ・関係者 = 31名

(別紙1-参加チーム一覧表を参照)

～ 団体戦 ～

【対戦組合せと競技方法】

○ディスクドッチ関東大会

①ユニファイド部門 4チーム ⇒ トーナメント戦 全4試合

～組合せ対戦結果の詳細は別紙2【ディスクドッチユニファイド】を参照。

試合時間 : 3分 00 秒の前／後半 ハーフタイムの規定はなし。

試合人数 : 1チーム10名、前／後半の試合中はメンバー交代なし。

勝敗決定 : 勝点制で順位を決定し、同点の場合、引分け。

②小学生部門 8チーム ⇒ 予選 ➡ 4チームで構成するA／Bの2リーグ

順位決定戦 ➡ 予選A／Bの同順位が対戦

～組合せ対戦結果の詳細は別紙3【ディスクドッチ小学生】-1/-2 を参照。

試合時間 : 各3分30秒の前／後半 ハーフタイム2分

試合人数 : 1チーム10名、前／後半の試合中はメンバー交代なし。

勝敗決定 : 予選は勝点制で順位を決定し、同点は引分け。

◎本大会では試合開始時における元外野の人数を3人に規定した。

◇ゴールドドッチ関東大会 4チーム ⇒ トーナメント戦

～組合せ対戦結果の詳細は別紙4【ゴールドドッチ】を参照。

試合時間 : 各 7 分00秒の前／後半 ハーフタイム2分

試合人数 : 1チーム5名、試合中のメンバー交代は自由。

勝敗決定 : 同点の場合、PT戦で勝敗を決定。決勝戦のみ、延長戦をおこなった。

【最終成績】 <表彰対象>

○ディスクドッチ関東大会

ユニファイド部門	優勝	ウイングみやまえ南平台
	準優勝	ウイングなかはら
小学生部門	優勝	峡田ドッジビークラブ ホワイト
	準優勝	チャレンジファイターズ
	第3位	峡田ドッジビークラブ ライトブルー

◇ゴールドドッチ関東大会	優勝	NDCヤソップ
	準優勝	M. D. C

～ 個人戦 ～

【ドッチディスタンス実施方法】

ドッチディスタンス関東大会は3クラスで実施

- ジュニアクラス 個人での事前申込み ～ 小学3年生以下に限った
- ▲オープンクラス 個人での事前申込み ～ 小学4年生以上、年齢上限なし
- ◆ユニファイドクラス ディスクドッチのユニファイド部門参加者に限った

※事前申込みの人数によって観戦・保護者を対象にして当日申込みでチャレンジクラスを実施する計画があったが事前申込み者が多数あったため、チャレンジクラスはなしとした。

◎一人あたり1分以内に3投 / 最長飛距離のみ計測 / 横幅制限は20m

◎ディスクは公式ミカサ230・250・270を主催者が用意、選手は3枚を自由に選択可能。

<予選>

参加者全員が通常ルール通りに3投をおこない記録を計測。即時、集計して各クラスの成績上位6～7名の決勝進出者を発表。

<決勝>

各クラス予選成績の下位から順番に試投して最長の記録を計測のうえ、最終順位を決定。

【最終成績】 <決勝進出者>

●ジュニアクラス ※予選6位が同記録となったため、7名が決勝へ進出した

優勝	22.32m	中坊 陽月	小学3年生男子
準優勝	21.51m	中村 華	小学3年生女子
第三位	20.57m	山崎 倫太郎	小学3年生男子
第四位	20.52m	愛甲 勘太	小学2年生男子
第五位	20.39m	羽生 さくら	小学2年生女子
第六位	18.98m	大野 樹人	小学3年生男子
第七位	17.80m	平田 圭叶	小学3年生男子

▲オープンクラス

優勝	31.95m	大杉 健斗	高校2年生男子
準優勝	31.59m	平田 真叶	高校1年生男子
第三位	29.36m	輿石 菜緒	アダルト(18-30)女子
第四位	28.17m	中坊 零志	小学6年生男子
第五位	26.46m	米倉 悠史	中学3年生男子
第六位	23.49m	安田 雅泉	高校3年生男子

※各クラス優勝に金メダル、準優勝に銀メダル、第3位に銅メダルを贈呈

【ドッチェディスタンス日本記録の更新】

~~~~~ 今大会では19カテゴリーで日本記録の更新・樹立があった ~~~~~

<u>一般カテゴリー</u>	<u>氏名</u>	<u>記録(秒)</u>
高校1年生男子	平田 真叶	32.41
高校2年生男子	大杉 健斗	31.95
シニアアダルト(36-40)女子	大野 千尋	24.42
<u>チャレンジドカテゴリー</u>	<u>氏名</u>	<u>記録(秒)</u>
チャレンジド小学2年生男子	渡辺 昴紀	15.92
チャレンジド小学3年生男子	森田 貴志	15.47
チャレンジド小学3年生女子	佐渡谷 玲	2.56
チャレンジド小学4年生男子	奥滝 隼也	9.56
チャレンジド小学4年生女子	飯田 有香	12.29
チャレンジド小学5年生男子	大久保 寛駿	13.60
チャレンジド小学6年生男子	勝部 穰	15.27
チャレンジド小学6年生女子	及川 明	9.53
チャレンジド中学1年生男子	有田 峻	16.55
チャレンジド中学1年生女子	安川 なな	15.52
チャレンジド中学2年生男子	藤井 優成	8.56
チャレンジド中学3年生女子	川瀬 美緒	14.71
チャレンジド高校1年生男子	益田 聖也	16.69
チャレンジド高校2年生女子	狩野 心葉	12.77
チャレンジド高校3年生男子	原 光生	21.76
チャレンジド18歳女子	黒田 菜央	8.78

【Covid-19 対策事項】

●会場レイアウト・導線

入場者の入・退場を把握・管理するために
観客席は東側のみを使用。
西側は西出入口も含めて
全面使用不可とした。

●受付関係

入場者に対して手指の消毒／当日検温
および事前検温の確認を漏れなく
実施するために屋内球技場(大会会場)
への入り口は東メイン入口1か所のみと
して東エントランスホールに受付(本部)
を設置した。

●参加料の徴収

今大会では事前の口座振込の支払いを
基本として受付時間を短く、
接触をできるだけ減らすことにした。

●全体進行

(別紙5-スケジュール進行結果表を参照ください)

今大会では密を回避する目的で部門ごとに集合時間と競技時間をずらして設定した。
基本的に複数の部門が会場に同時に存在しないようなタイムスケジュールでおこなった。
さらに基本、無観客として参加チーム帯同者は必要最低限としていただく協力依頼をした。

●選手・スタッフの2週間前からの体調管理

(検温その他体調不良など)

選手については参加の条件として当日の朝、受付にて全チーム代表者に確実な実施の誓約
を得た。またスタッフ・関係者については事前に記録用紙をメール送信し、当日に持参して
提出してもらうことを求めた。

●大会終了2週間後までの間に感染者の発生があった場合、および感染が疑われる事象が あったときには速やかな連絡をチーム代表者・スタッフおよび関係者に依頼した。

【大会写真・動画】

今大会では協会が設定した撮影専門スタッフによるプレー中の写真撮影をおこない後日、大会参加者に向けてグーグルドライブを使用して期間を限定した写真の閲覧およびダウンロードが無料でおこなえるサービスを実施。

また団体戦の3位決定戦・決勝戦は動画を撮影・編集してユーチューブにて無料公開を実施。

【参加賞】

文化シャッター株式会社様ご提供による温度・湿度計を、ワタミ株式会社様ご提供によるグループ共通割引券を、株式会社クラブジュニア様ご提供によるミニディスクを、さらに特別支援学校の生徒が作成した牛乳の紙パックを再利用したポーチをDBJAが購入して贈呈した。

【表彰】

日本ドッジビー協会より表彰状を贈呈。

文化シャッター株式会社様ご提供により優勝チームには、選手全員に金メダルを、準優勝チームには、表彰盾を、第三位チームに、表彰トロフィーを贈呈。

さらに全入賞チームにワタミ株式会社様よりグループ共通500円分お食事券が人数分、

株式会社ミカサ様よりチームに公式ドッジビーディスクが贈呈された。

【全体運営所感】

2022年10月2日(日曜日) 快晴に恵まれスポーツ日和と言える陽気の中、駒沢オリンピック公園総合運動場 屋内球技場に於いて広域ドッジビーコンペティション 関東大会(6回目)2022を開催しました。

前回の広域シリーズから丸1年ぶりに開催となりましたが前回は新型コロナの影響を強く意識しており、全てセレモニーを排除、まずはとにかく競技会の開催に専念したことを思い出しました。

密な状況避ける努力はしながらも、今回はいくつかの規制を撤廃しました。まず第1に観客制限を解除・撤廃しました。その結果、多くの保護者が集まってくださったことから客席がかなり埋まり、当初想定していた観客席の使用は片側のみとする予定を最大人数が集まる時間帯において一時的でしたが、使用しないエリアを当日の判断で開放する事態が起きました。

第2に、開会式を復活させて一同が集まり、久しぶりに全体集合写真を撮影しました。

そして閉会・表彰式を通常形態でおこなうことにしましたが、これらセレモニー関係行事を実際には3年間まったくやっていなかったことから、自分達がびっくりするほどに段取り等がすっかりと抜け落ちており進行のひどさには赤面の思いをしました。

最も反省すべき点としては全体進行が大きく遅延し最終終了時間は当初予定からほぼ1時間遅れましたことで皆さまには多大なご迷惑をおかけしました。本当に申し訳ありませんでした。

原因として今大会は3種目を1会場でおこない相互鑑賞の観点で同時進行を避けたことで会場転換が頻繁かつ煩雑だったことが挙げられます。次に

2種目で初の運営形態を採用したため習熟が足りなかった、そしてセレモニーの段取りの悪さが拍車をかけたものと分析していますが、さらにはゴールドドッジの決勝が延長となるなど、運にも見放された、感じもありました。

この反省点を今後に生かし、より良い大会運営を目指すようにいたします。しかしながら大きな事故やケガの発生なく無事終了出来ましたことは関係する皆さまのご支援・ご協力の賜物と思い、心より感謝いたします。引き続き、今後も宜しくお願い申し上げます。各種目の講評は総括担当より以下にお伝えします。

【ディスクドッジ関東大会 講評】

体育館(無風)でおこなうことがベストな環境と言えるディスクドッジの大会は、新型コロナ感染防止の観点から主催者として開催することにおいての、また集まる側のチームにおいても、遠慮や敬遠が未だ消え去らない印象が残りますが今回のディスクドッジ小学生大会は8チームの参加をいただき、感謝しております。

前回、昨年11月の関東大会で3チームが集って以来、DBJA主催では丸1年ぶりの開催で倍増してはいるもののコロナ以前からするとまだ、寂しいチーム数という感じは誰もが否定しないところと思いますが参加地域は荒川区5、調布市1、武蔵野市1、越谷市1チームとなり、関東大会と呼ぶにふさわしいエリア感はあったと感じます。

競技に関して小学生においては通常、試合人数は13名のところを10名にて。また、元外野を試合開始時点には3名に固定して、全試合をおこないました。

これを導入したのは複眼的な理由からですが、昨今の目ではコロナ禍の密を避ける対応として、

長い目では継続的な少子化傾向に対応して、中期的には来年度以降の公式ルール改定の案に則す、といったことからですが、大きな違和感はなくプレーをしているように思えました。

昨今の状況から、練習場所の確保が難しく思うような練習ができない中でとてもよいチームが出来ていると思えました。これは指導する保護者の努力ではないかと想像致しますが、一生懸命に投げ、捕ろうとする姿には感服しました。子どもたちにこの大会が、いい思い出と貴重な体験になってくれたら嬉しく思います。

ドッジビーにおいて小学生ディスクドッジは中核的位置付けであるべきと改めて感じました。

ユニファイド部門においては昨年と同様に4チームの参加をいただき、ある意味では安定的ともいえますが、この情勢の中での部門成立は本当に嬉しいことでした！さらに終了後、参加者より、「楽しかった、また来たい」との声を聴き、嬉しく思います。

ユニファイドは社会ニーズも高く、各方面より期待する

とのご意見を頂戴することが多く今後、DBJAとしてはメインの位置付けで取り組み動きを止めず、さらなる普及に努めたいと思います。

反省点としては会場転換が多いなか、スタッフが少なく、審判にも運営作業をさせることになり、審判は審判に専念できるよう絶対数を

増やす努力を協会としておこなう必要性を感じました。

ご参加頂いたチーム関係者の皆様には心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

【ドッジディスタンス 講評】

ジュニアクラスは11名、オープンクラスは29名、ユニファイドクラスは37名の選手が参加して熱戦が繰り広げられました。

ジュニア/オープンクラスは今回初めて予選&決勝の方式を採用して、予選成績の上位6名が決勝に進出する形態でおこないました。その決勝では会場内にナレーションで記録をアナウンスしたこともあり、一投一投、会場からどよめき上がるなど盛り上がりました。

ジュニアクラスでは予選5位の中坊陽月選手が(小3男子)22.32mを投げて大逆転の優勝！！

オープンクラスでは、予選3位の大杉健斗選手(高2男子)が31.95mを投げてこちらも逆転優勝を果たしました。大杉選手は高2男子の日本記録を更新した他、平田真叶選手(高1男子)が予選で32.41mを投げて高1男子の日本記録を更新。大野千尋選手は24.42mを投げ、シニアアダルト(36-40)女子の日本記録を更新しました。

一般カテゴリーのドッジディスタンスの記録は研ぎ澄まされてきており、目が離せないと感じるとともに記録更新も簡単ではない段階になってきたと感じています。

ユニファイドクラスは予選・決勝の形態は取らず、記録会方式でディス

クドッジのユニファイド部門の参加者を対象に実施しました。

原光生選手(チャレンジド高3男子)が21.76mの記録をはじめ、チャレンジドカテゴリーで16件もの日本記録が生まれ、数多くの選手に参加して頂いたおかげで本カテゴリーの記録が数多く残り、今後のよい目標となったと思います。

現在の全カテゴリー記録は「[ドッジディスタンス最新日本記録](#)」のページを参照下さい。
ドッジディスタンス大会は観る人も魅了する、大変面白い競技であることを改めて感じられるイベントであり、協会スタッフ丸となって今後もしっかりと取り組んでいきたいと思います。

【ゴールドドッジ関東大会 講評】

ゴールドドッジは今シーズン4戦実施した「ゴールドドッジミックス大会」の成績上位4チームを招待して、準決勝の2試合の勝敗で3位決定戦、決勝戦の対戦相手を決する形式としました。

準決勝第一試合は、シーズン1位NDCヤソップにシーズン4位の山葵eeが挑みました。NDCの圧倒的有利な展開と思いきや、山葵eeのフルコートでのディフェンスがハマり最後まで引き締まった試合となり、2-2の同点で終了。ペナルティスロー決着となりました。

両チーム3人目までは誰も失敗なく、迎えた山葵ee 4人目をNDCヤソップの守護神松島選手が神懸かったセーブ。この1ポイントが勝負を分け、5-4でNDCが決勝へ進出しました。

続いて準決勝第二試合は、予選大会優勝もある2位 styleとシーズン3位のM. D. Cが対戦しました。

こちらも点差がなかなか離れない展開で終盤まで大接戦。結果はM. D. Cがシーズン2位のstyleを破る大金星で決勝への切符を手に入れました。この要因は強力な攻撃力を持つstyleにゴールをなかなか割れないM. D. Cの守備にあったと見えました。

この結果、3位決定戦は山葵eeとstyleの対戦。山葵eeは今大会で上手くハマっているフルコートディフェンスでstyleを抑えにかかるが巧みなディスク捌きでstyleはディフェンスの隙をつきゴールへ迫り、どちらも譲らない展開で前半 1-0。後半の序盤も一進一退の攻防で引き締まった展開。しかし、フルコートディフェンス2試合目の山葵eeの足が徐々に止まってゴール前のチャンスを逃さないstyleがきっちりとゴールを重ねて勝負あり。

決勝戦は王者NDCヤソップに勢いに乗るM. D. Cが挑みます。

試合開始早々、キャプテンの福本選手のゴールが決まりM. D. Cが先制。

得点を奪い勢いに乗るM. D. Cの守護神・福本選手はNDCの強烈なシュートを幾度となくストップします。しかし動じないNDCは前半終了間際に中川選手の連続ゴールで

2-1 と逆転。後半M. D. Cは高い身体能力を活かした空中戦で勝負。しかし一進一退の展開で点の取り合いになるかと思いきや、両守備陣が踏ん張って3-3で終了。同点延長は3分の前・後半にて両者が納得。この痺れる展開で冷静だった王者NDCヤソップ、結果は6-3で勝利。

いずれも接戦に次ぐ接戦で見応えある試合の連続で観客席からも多くの歓声が上がリプレーする選手達の励みになったのはもちろん、この競技の「観る」魅力を再確認できました。また今大会では初の試みで決勝戦は選手個人へスポットを当てたり、チームの戦術面等を解説しながら実況と解説放送をおこないました。観客席の皆様に魅力が伝わっていただければ幸いです。

4チームの皆様はファイナルに相応しい熱戦をいただきまして心より感謝申し上げます。

関東大会2022 エントリーチーム一覧

※市区町村は代表者住所より

最終版 2022/09/24

種目・部門	No	都府県	市区町	チーム名称	人数	
Disc Dodge	ユニファイド	1	東京都	文京区	UNITY	10
		2	東京都	稲城市	ウイングまちだ成瀬	11
		3	神奈川県	川崎市	ウイングなかはら	16
		4	神奈川県	川崎市	ウイングみやまえ南平台	12
						49
	小学生	1	東京都	調布市	深小DBサークル	13
		2	埼玉県	越谷市	越谷市ドッジビークラブKDC	14
		3	東京都	荒川区	峡田ドッジビークラブ ライトブルー	13
		4	東京都	荒川区	峡田ドッジビークラブ ホワイト	13
		5	東京都	荒川区	チャレンジファイターズ	11
		6	東京都	武蔵野市	M.D. C	15
		7	東京都	荒川区	ドリーム☆ファイターズ	13
8		東京都	荒川区	ウエストシックス	12	
					104	
Disc Dodge計					153	
Goal Dodge	1	東京都	足立区	NDCヤソップ	11	
	2	神奈川県	川崎市	style	11	
	3	東京都	武蔵野市	M.D. C	9	
	4	東京都	練馬区	山葵ee	11	
Goal Dodge計					42	
Dodge Distace	ジュニア				参加総数=12	1
	オープン				参加総数=32	8
	ユニファイド				参加総数=39	0
Dodge Distance計					9	
他種目と重複しない人数です						
選手合計人数 →					204	

ディスクトッチ関東大会2022 ユニファイド部門 【対戦結果表】

【小学生部門】

予選Aリーグ 対戦結果表

A	深小DB サークル	勝点	峡田 ドッジビー クラブ ライトブルー	勝点	チャレンジ ファイターズ	勝点	越谷市 ドッジビー クラブ KDC	勝点	勝点 合計	得点	失点	得失点	順位
	深小DB サークル			3-16	0	0-17	0	6-13	0	0	9	46	△ 37
峡田 ドッジビー クラブ ライトブルー	16-3	3			7-9	0	16-6	3	6	39	18	21	2
チャレンジ ファイターズ	17-0	3	9-7	3			14-4	3	9	40	11	29	1
越谷市 ドッジビー クラブ KDC	13-6	3	6-16	0	4-14	0			3	23	36	△ 13	3

※ リーグ戦の順位決定は勝点制を採用。
勝ち=3ポイント、引分け=両チームに1ポイント、負け=0ポイント

【小学生部門】

予選Bリーグ 対戦結果表

B	M.D.C	勝点	ドリーム☆ ファイターズ	勝点	峡田 ドッジビー クラブ ホワイト	勝点	ウエストシックス	勝点	勝点 合計	得点	失点	得失点	順位
	M.D.C			16-6	3	9-15	0	4-14	0	3	29	35	△ 6
ドリーム☆ ファイターズ	6-16	0			4-14	0	3-11	0	0	13	41	△ 28	4
峡田 ドッジビー クラブ ホワイト	15-9	3	14-4	3			10-9	3	9	39	22	17	1
ウエスト シックス	14-4	3	11-3	3	9-10	0			6	34	17	17	2

【小学生部門】

順位決定 対戦結果表

Aリーグ4位

7位 決定戦	13	深小DBサークル
		Bリーグ4位 VS
	12	ドリーム☆ファイターズ

Aリーグ3位

5位 決定戦	11	越谷市ドッチビークラブKDC
		Bリーグ3位 VS
	9	M. D. C

Aリーグ2位

3位 決定戦	9	峡田ドッチビークラブ ライトブルー
		Bリーグ2位 VS
	7	ウエストシックス

Aリーグ1位

決勝戦	9	チャレンジファイターズ
		Bリーグ1位 VS
	13	峡田ドッチビークラブ ホワイト

※ 決勝戦のみ、同点の場合、3分一本通しの延長戦をおこなう。

ゴールドタッチ関東大会2022 【対戦結果表】

同点の場合、PT戦をおこない勝敗を決する。
決勝のみ、5分の延長戦をおこなう。

WIDE RANGE DODGEBEE COMPETITION 関東大会2022 Tournament Schedule 進行結果表

2022年10月2日(日曜日) 駒沢オリンピック公園 屋内球技場

時間	種目/サイズ	ディスクドッチAコート/9×18m	ディスクドッチBコート/9×18m	ゴールドッチDコート/20×40m	time	時間
9	30:00~35:00				0:00~5:00	9
	35:00~40:00				5:00~10:00	
	40:00~45:00				10:00~15:00	
	45:00~50:00				15:00~20:00	
	50:00~55:00				20:00~25:00	
	55:00~60:00				25:00~30:00	
10	0:00~5:00	深小DBサークル - 峡田ドッチビークラブ ライトブルー	M. D. C - ドリーム☆ファイターズ		0:00~5:00	10
	5:00~10:00				5:00~10:00	
	10:00~15:00	チャレンジファイターズ - 越谷市ドッチビークラブKDC	峡田ドッチビークラブ ホワイト - ウエストシックス		10:00~15:00	
	15:00~20:00				15:00~20:00	
	20:00~25:00				20:00~25:00	
	25:00~30:00				25:00~30:00	
	30:00~35:00	深小DBサークル - 越谷市ドッチビークラブKDC	M. D. C - ウエストシックス		30:00~35:00	
	35:00~40:00				35:00~40:00	
	40:00~45:00				40:00~45:00	
	45:00~50:00				45:00~50:00	
11	0:00~5:00			① NDCヤソップ - 山葵ee	0:00~5:00	11
	5:00~10:00				5:00~10:00	
	10:00~15:00				10:00~15:00	
	15:00~20:00				15:00~20:00	
	20:00~25:00			② style - M. D. C	20:00~25:00	
	25:00~30:00				25:00~30:00	
	30:00~35:00				30:00~35:00	
	35:00~40:00				35:00~40:00	
	40:00~45:00				40:00~45:00	
	45:00~50:00				45:00~50:00	
12	0:00~5:00	深小DBサークル - チャレンジファイターズ	M. D. C - 峡田ドッチビークラブ ホワイト		0:00~5:00	12
	5:00~10:00				5:00~10:00	
	10:00~15:00	UNITY - ウイングなかはら	ウイングまちだ成瀬 - ウイングみやまえ南平台		10:00~15:00	
	15:00~20:00				15:00~20:00	
	20:00~25:00	峡田ドッチビークラブ ライトブルー - 越谷市ドッチビークラブKDC	ドリーム☆ファイターズ - ウエストシックス		20:00~25:00	
	25:00~30:00	UNITY - ウイングまちだ成瀬 3位決定戦	ウイングみやまえ南平台 - ウイングなかはら 決勝戦		25:00~30:00	
13	0:00~30:00	開会セレモニー / ユニファイドディスクドッチ部門 表彰式			0:00~30:00	13
	30:00~35:00				30:00~35:00	
	35:00~40:00				35:00~40:00	
	40:00~45:00				40:00~45:00	
	45:00~50:00				45:00~50:00	
	50:00~55:00				50:00~55:00	
14	0:00~5:00	ドッチディスタンス予選			0:00~5:00	14
	5:00~10:00				5:00~10:00	
	10:00~15:00				10:00~15:00	
	15:00~20:00				15:00~20:00	
	20:00~25:00				20:00~25:00	
	25:00~30:00				25:00~30:00	
	30:00~35:00	深小DBサークル - ドリーム☆ファイターズ 7位決定戦	越谷市ドッチビークラブKDC - M. D. C 5位決定戦		30:00~35:00	
	35:00~40:00				35:00~40:00	
	40:00~45:00			山葵ee - style 3位決定戦	40:00~45:00	
	45:00~50:00				45:00~50:00	
15	0:00~5:00				0:00~5:00	15
	5:00~10:00				5:00~10:00	
	10:00~15:00		峡田ドッチビークラブ ライトブルー - ウエストシックス 3位決定戦		10:00~15:00	
	15:00~20:00				15:00~20:00	
	20:00~25:00			選手アナウンス入場	20:00~25:00	
	25:00~30:00			NDCヤソップ - M. D. C 決勝戦	25:00~30:00	
16	0:00~5:00	ドッチディスタンス決勝			0:00~5:00	16
	5:00~10:00				5:00~10:00	
	10:00~15:00				10:00~15:00	
	15:00~20:00				15:00~20:00	
	20:00~25:00		選手アナウンス入場		20:00~25:00	
	25:00~30:00	チャレンジファイターズ - 峡田ドッチビークラブ ホワイト 決勝戦			25:00~30:00	
30:00~35:00				30:00~35:00		
35:00~40:00				35:00~40:00		
16:40~17:10	閉会セレモニー / 表彰式					